

第3回水稻生育情報

令和5年7月27日発行

霞ヶ浦農業用水推進協議会「水土里連絡会」
(霞ヶ浦用水土地改良区) TEL 0296-43-0885

概況

- ・気温について、7月第1～第2半旬にかけては、平年よりも高く推移した。
- ・日照について、7月第1～第2半旬にかけては、平年より多く推移した。
- ・定点調査圃場の生育は、草丈は高い～平年並、茎数は平年並～やや少ない、葉色は平年並～淡い。
- ・定点圃場の幼穂長からみた出穂期は、平年と比較して、2日程度早いと予測される。

※品種はコシヒカリ

調査地点	田植日	草丈 (cm)	茎 数		葉 色	
			(本) / 株	(本) / m ²	カラースケール	葉緑素計
笠間市	4月25日	85.4	24	359.3	3.6	33.3
土浦市	5月5日	80.7	24	442.0	3.6	29.9
石岡市	5月14日	82.3	22	373.0	3.7	30.7
つくば市	5月2日	88.7	26	425.0	3.4	33.6
筑西市	5月5日	85.8	25	420.0	3.5	32.2
下妻市	5月1日	88.2	39	538.5	3.7	30.7
桜川市	5月9日	81.1	24	373.7	3.3	32.3
常総市	5月3日	94.1	31	600.0	3.9	36.8
八千代町	5月1日	91.2	28	463.0	4.2	32.5
結城市	5月6日	83.7	28	468.0	3.6	30.2
坂東市	4月27日	90.7	33	506.1	3.2	28.2
古河市	5月14日	81.7	32	488.6	3.5	29.0
境 町	4月25日	87.9	22	393.2	3.3	30.6

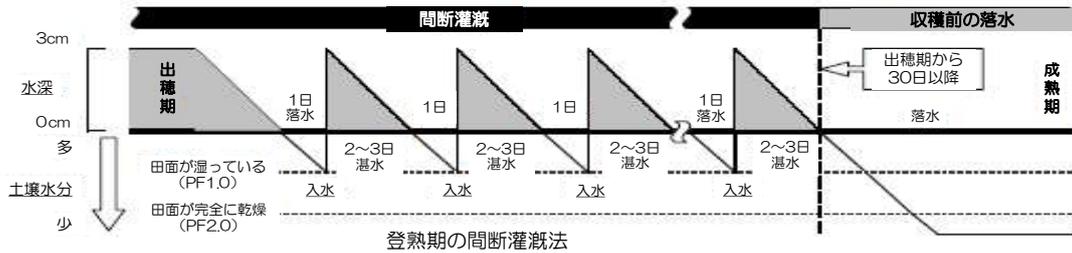
(令和5年7月10日調査)

予想される向こう3か月の天候

- 7月 期間の前半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。期間の後半は、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。
- 8月 平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
- 9月 天気は数日の周期で変わり、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

○登熟期の水管理

- ・根の活力低下を防止し、登熟を促進するため、引き続き間断かんがいを行う。高温登熟による乳白粒、胴割粒、白米ひび割れ粒の発生を防止するため、出穂後は下記の水管理を徹底する。入水後は自然落水しながら2～3日湛水し、落水後は田面が湿っているうちに再び入水するサイクルを繰り返す。この水管理法により、乳白粒の発生を少なくできる。



○カメムシの防除

- ・斑点米カメムシ類の耕種的防除として、畦畔のイネ科雑草が穂をつけないよう除草することが有効である。ただし、水田内への追い込みを避けるため、水稻が出穂する2週間前までに除草を完了する。

○いもち病(葉いもち)の防除

- ・いもち病が発生しやすい水田(育苗箱施用剤を使用していない水田、日当たりや風通しの悪い水田等)を中心に見て回り、葉いもちの発生を認めたら、上位葉への進展を抑えるため、直ちに防除を行う。

○紋枯病の防除

- ・紋枯病は、玄米千粒重の低下や乳白粒の発生を引き起こす要因となる。昨年度に発生が多かった圃場では特に注意し、発生を認めた場合には早期に防除を行う。

(この水稻生育情報は茨城県農業総合センター、関係農林事務所経営・普及部門、農業改良普及センターから提供された資料を参考に作成したものです。)